

(仮称) 石狩・八幡小学校設立準備委員会 第6回会議【質疑要旨】

- ・日時 平成30年 5月15日(火) 18:00～19:25
- ・会場 八幡小学校(音楽室)  
※会議前に学校施設の視察を行った。(17:00～17:50)

・出席者

[保護者]

- 佐藤 百恵 石狩小学校PTA副会長〔新規〕
- 柿崎 明子 八幡小学校PTA副会長〔新規〕
- 鈴木 諭美江 聚富小中学校PTA監査
- 富木 智之 石狩中学校PTA会長
- 熊倉 可菜 くるみ保育園父母の会
- 工藤 隆司 聚富保育園 父母の会

[学校関係者]

- 吉田 光岐 石狩小学校校長〔新規〕
- 三島 哲 八幡小学校校長
- 青山 司 聚富小中学校校長
- 本田 明美 石狩中学校校長〔副委員長〕

[学識経験者]

- 成屋 健一 学校支援地域本部事業・地域コーディネーター〔委員長〕

[学校支援推進員]

- 中井 元 石狩小学校学校支援推進員
- 菊地 功 八幡小学校学校支援推進員

[町内会代表者]

- 牧野 勉 むつみ町内会会長
- 朝倉 勲 虹が原町内会会長

※出席 15名

[教育委員会事務局]

- 佐々木生涯学習部長
- 佐藤教育指導担当次長
- 安崎総務企画課長
- 佐々木学校教育課長
- 照山指導担当参事
- 清水市民図書館副館長
- 松永総務企画課主幹
- 古屋総務企画課主査
- 加藤総務企画課施設担当主査
- 石黒学校教育主事

[保健福祉部]

- 伊藤子ども政策担当次長
- 川畑子ども政策課子ども・子育て担当主査

※傍聴者 3名

● 委員長あいさつ

今日は、会議前に八幡小校舎の現地視察を行うということで、委員の皆さんには時間調整をしていただき感謝を申し上げます。また、校長先生をはじめ八幡小の先生方にもお礼を申し上げます。

今日は第6回会議ということで、「校名の募集について」と「学校施設の現状について（意見交換）」の2件の検討を行う。

● 新委員について

事務局（松永総務企画課主幹）より、各委員の所属団体の役員改選、教職員の人事異動等に伴い、新たに3名の委員を委嘱することについて報告した。

その後、佐藤委員（石狩小学校PTA副会長）、柿崎委員（八幡小学校PTA副会長）、吉田委員（石狩小学校校長）より自己紹介を行った。

引き続き、本年4月の人事異動により新たに加わる市教委事務局、市保健福祉部職員より自己紹介を行った。（佐藤教育指導担当次長、伊藤子ども政策担当次長、川畑子ども政策課主査）

● 校名の募集について

別添の資料に基づき、事務局（松永総務企画課主幹）より説明した。

「（仮称）石狩・八幡小学校 校名の決定に向けて」

- 1 校名募集の周知方法、スケジュール（案）
  - ・募集チラシ・・・別紙（案）
- 2 募集後の取り組みについて～校名の決定までの流れ（案）～
  - ・これまでの協議（論点整理）
  - ・論点のポイント

[質疑応答]

（戒屋委員長）

ただ今、校名募集について説明があった。ご質問、ご意見をいただきたい。

（A委員）

事務局の提案に全く異論は無いが、次の二点を提案したい。

一点目は、募集要項に「石狩」という文字を入れるか、もしくは、「歴史や伝統を感じられる名前とすること」という文言を入れてはどうかということ。

二点目は、委員による第二段階、第三段階以降の検討にあたって、次回の会議前に事前に検討できるように配慮していただきたいということである。

（松永総務企画課主幹）

二点目については、事務局で応募状況を速やかに集約して、次回の会議の前に委員の皆さんに応募結果をお送りして、検討していただく時間を設けるようにする。

一点目の「募集要項に条件を付けるかどうか」という提案については、委員の皆さんのご意見をいただきたい。

（B委員）

資料に「石狩という名前を残してほしいという地域からの声」とあるが、募集要項に「石狩という名を入れてください」とすることは相応しくないとはいえず反対であるが、A委員がおっしゃった「歴史

や伝統を感じられる名前とすること」ということで、伝統を重んじてその思いを校名の中になるべく組み込んで・・・という内容を募集要項に盛り込むのはいいと思う。

(戎屋委員長)

市教委(事務局)の提案としては、応募チラシ(案)に記載されている「石狩発祥の地」として長い歴史を刻んできた・・・というあたりにその思いが含まれているのではないかと思うが、いかがか。

(A委員)

最終的に歴史や伝統を踏まえた校名を選定するというのであれば、最初から「歴史や伝統を踏まえて応募してください」と書いてもよいのではないかと思ったのですが。

(C委員)

私は、この応募チラシの通りでいいと思う。

(D委員)

最終的には、設立準備委員会として公募された中から選定するのだから、型をはめた募集の仕方では応募数がどうなるのかという疑問を感じる。歴史や伝統というのは必要だけど、最初から硬く縛るのはどうか。この応募チラシの内容で、必要なことは網羅されていると思う。

(E委員)

内容はこれでよいと思うが、子ども達にもわかるような、柔らかい表現にしてほしい。

(松永総務企画課主幹)

ご指摘いただいた点について、対象となる各学校の協力をいただいて、多くの子ども達にも応募していただきたいと考えているので、各学校でPRの時間を設けていただくなど、小学生向け、中学生向けの応募について取り進めていく。

(戎屋委員長)

子ども達から募集する際には、表現等の修正をしていくこととして、提案された募集要項、チラシの案を進めるということによろしいでしょうか。(⇒ 全委員の同意を得る。)

(戎屋委員長)

校名を公募するということは、新しい学校に関心を持ってもらうという意味において大変意義のある取組であると思っているので、各委員からも周知をお願いしたい。

(C委員)

先の話になるが、決定した校名を応募してくださった方を開校記念式典に招待してはどうか。

(戎屋委員長)

複数の方がいる場合は代表という形になると思うが、貴重なご意見なので今後の検討課題とさせていただきますということによろしいか。(⇒ 事務局了承)

● 学校施設の現状について（意見交換）

（戎屋委員長）

学校施設の現状について1時間ほど視察をしたが、これを踏まえて「現・八幡小学校の整備改修に係る検討項目」について、別紙資料を見ながらご意見をいただきたい。

（C委員）

まず、雨漏りをしている箇所と危険な箇所をチェックして、優先して考えていくべきだと思う。

（戎屋委員長）

先ほどの教頭先生の説明では、風の吹き込みで雨漏りが発生する場所は、図書室、理科室とその向かいの普通教室で、原因は外壁の亀裂や窓周辺のコーキングの劣化ではないかということだった。

（B委員）

外壁については、札幌市の学校と比べてそれ程ひどいという印象はなかった。窓のフレームと外壁の継ぎ目から雨水が入ってくるということなので、その部分をコーキングするといったコンパクトな修繕を行っていくのがいいと思う。ただ、理科室の床が雨漏りによって腐食が進んでいるので、そうしたところは措置を急いだ方がいいと思う。

（C委員）

外壁は予算があればやったほうがいいが、仮にこの機会に改修したとしても、その先10年後も行うというような学校施設としての中長期的な計画があるべきで、そのような計画がないということにがっかりしている。今、予算がないのであれば、今後のことを含めて考えていただきたい。

（戎屋委員長）

私から個人的な意見を申し上げますと、統合して学校が新しくなったという意識を持って、実際に学校を訪れたときに、一番目を引くのは校舎の外壁だと思う。この機会を逃すと、外壁の改修が難しくなると思うので、この機会に是非やってもらいたいと考えている。

（戎屋委員長）

他に、外壁よりも緊急性があると考えられる項目について、ご意見を伺いたい。

（B委員）

児童玄関の階段ブロックが崩れている部分は、ひっかかって転ぶという危険性があるので、優先して改修してほしい。見た目よりも実用の部分を急いだ方がいいと思う。

（C委員）

体育館から外へ出る非常扉や、その他校内のドアで開閉の不具合のある箇所については、早急に修理が必要だと思う。

（A委員）

体育館床の一部の剥がれなどの改修は、全国的な事故の事例や怪我の防止という観点から、間違いなく優先してやるべきだと思う。

(D委員)

校舎東側の非常階段について、強度は問題ないと思うが、錆があまりにも酷い。仮に校舎をリニューアルしたとしても、改修してない箇所が見えてしまうと、「あれはどうなんだ」ということになってしまう。非常階段はほとんど使うことのない箇所だが、外から丸見えなので必須ではないかと思う。

(B委員)

児童・職員トイレの改善（洋式便器の増設）という点に関連して、多目的トイレが校舎内に一つもないので、仮に男子と女子のトイレの間に設置するとした場合に、個室の便器が一つ減ったとしても、障がいを持つ児童や来校者にも対応でき、必要だと思うので優先順位を高めていただきたい。

(安崎総務企画課長)

学校は避難所という役割もあるので、洋式化と併せて今後検討させていただきたい。

(戒屋委員長)

例えば、設立準備委員会から市に対しての要望書を作るとした場合、優先順位をはっきりさせたほうがよいのかについて、市教委に伺いたい。

(佐々木生涯学習部長)

最終的には決まった金額の中で改修を行っていくことになるので、今後、財政担当などと交渉していく上でも優先順位がはっきりされていた方がありがたい。

(戒屋委員長)

これまでご意見をいただいた内容をまとめると、優先順位が高いのは次の通りとしてよいか。

- ・児童玄関前のブロックの改修
- ・体育館床の改修
- ・非常階段の塗装改善
- ・多目的トイレの設置（洋式化と併せて）
- ・雨漏り箇所の修繕と、雨漏りで影響を受けている理科室等の床の修繕
- ・ドア・扉の開閉不具合の改善（体育館など）

以上、順番はつけにくいですが、このあたりが優先順位の高いものとして確認したいが、いかがか。

(B委員)

特別支援教室のシャワーの設備についても、カーテンや仕切りを設置して、間違いなくプライバシーを保護できるように改善をお願いしたい。

また、学校のセキュリティの面で、保育園と同じように玄関のオートロック化は当然あるべきものだと思うのでお願いしたい。

(戒屋委員長)

わかりました。私からこだわるようだが、外壁の改修については、これらに続く位置付けとしていただいて、よろしいでしょうか。（⇒ 全委員の同意を得る）

(D委員)

最後になるが、体育館の音響設備などの学校から挙げられている具体的な要望についても重要視していただきたいと思う。

(安崎総務企画課長)

音響についても、学校から不具合が生じていることを聞いているので、改善していきたい。

(戎屋委員長)

施設の整備改修に関する事で、他にご意見はないか。 (⇒ 意見なし)

## ● その他

(松永総務企画課主幹)

委員長から施設改修に関する要望書の提出についてお話があったが、次回(7月)の会議までに、設立準備委員会の事務局という立場で、いただいたご意見を取りまとめた形で、要望書の素案を作成したいと思う。

(松永総務企画課主幹)

また、前段の校名の公募に関連し、去る5月9日に、石狩小学校の同窓会から統合小学校の校名に関する要望書を、市教委として受理したことを報告する。内容は「平成32年4月に開校が予定されている統合小学校の校名については、長い歴史と地域の状況に鑑み、石狩小学校と命名されるよう石狩小学校同窓会一同、強く要望いたします。」というもので、鎌田教育長と佐々木生涯学習部長、安崎総務企画課長の同席のもとで、同窓会の会長から書面で受理したことを報告する。

(佐々木生涯学習部長)

なお、補足させていただくと、要望書を受け取った際に、校名は公募によって決めさせていただくことをご説明している。(⇒ 全委員了承)

## ● 次回の開催について

(戎屋委員長)

次回・第7回会議は、7月12日(木)、18時30分から、八幡コミュニティセンターで行いたいと思うので、宜しくお願いしたい。(⇒ 全委員了承)

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成30年7月12日

(仮称) 石狩・八幡小学校設立準備委員会

委員長 戎屋 健一